

2019年11月11日から11月12日にかけて、松本市議会と福島県会津若松市議会に視察に行きまして以下のように報告いたします。

1日目は松本市議会を訪問し副議長の挨拶を頂きました。その中で議会改革について触れており、3010運動は松本市議会がまずは発祥の地だそうです。来年2月には統一タブレット端末及びにペーパーレス会議システムを完全実施するそうです。

自分が特に感心と思ったのは、ステップアップ市民会議です。市議会の運営に関し、市民からの意見及び提言を市議会の運営に反映させ、市議会への市民参加を推進し「開かれた議会」の実現を図るとのことでありました。

ステップアップ市民議会に参加する委員は当初公募で決められ、18歳以上の市民総勢20名でこれまでに3期行われましたが、やはりテーマをきちんと決めて各種団体との話し合いが良いということになり、3期目においては公募を5名に減らし、女性会や農業関係や工業関係といった各種団体からの推薦15名の総勢20名で行っているそうです。

2日目は福島県会津若松市議会へ視察に行きました。議会運営委員長の松崎委員長より細かな説明を頂きました。この中で私が一番感心を持ったのは、市内15地区において5月と11月の年2回、市民との意見交換会を開催しているとのこと。毎回テーマを決め、ただの陳情の場となってしまうよう、説明の上各種団体関係者に出席を促す等の事前の準備が徹底していました。どの会場も20～30人前後の参加者があるそうで、非常に良い取り組みだと思われました。

また会津若松市には会津藩校日新館創設以来、人づくりこそ地域発展の礎という考えのもと、教育に力を入れて来た歴史と伝統があります。その中で市民共通の行動指針となる「あいづっこ宣言」があるそうです。

「あいづっこ宣言」

- ① 人をいたわります
- ② ありがとう、ごめんなさいを言います
- ③ がまんをします
- ④ 卑怯なふるまいはしません
- ⑤ 会津を誇り、年上を敬います
- ⑥ 夢に向かって頑張ります

やっではならぬ やらねばならぬ ならぬことはならぬものです